

【表紙】

| | |
|-------------------------------------|---|
| 【提出書類】 | 有価証券届出書の訂正届出書 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 2019年8月28日 |
| 【発行者名】 | フロンティア不動産投資法人 |
| 【代表者の役職氏名】 | 執行役員 岩藤 孝雄 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都中央区銀座六丁目8番7号 |
| 【事務連絡者氏名】 | 三井不動産フロンティアリートマネジメント株式会社 取締役財務部長 岩本 貴志 |
| 【電話番号】 | 03-3289-0440 |
| 【届出の対象とした募集内国投資証券に係る投資法人の名称】 | フロンティア不動産投資法人 |
| 【届出の対象とした募集内国投資証券の形態及び金額】 | 形態：投資証券 発行価額の総額：その他の者に対する割当 471,971,500円 |
| 安定操作に関する事項 | 該当事項はありません。 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号) |

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

2019年8月15日提出の有価証券届出書の記載事項のうち、2019年8月28日開催の役員会において発行価格等が決定されましたので、これらに関連する事項を訂正するため、本有価証券届出書の訂正届出書を提出するものです。

2【訂正事項】

第一部 証券情報

第1 内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）

- (3) 発行数
- (4) 発行価額の総額
- (5) 発行価格
- (15) 手取金の使途

第5 募集又は売出しに関する特別記載事項

オーバーアロットメントによる売出し等について

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____ 罫で示してあります。

第一部【証券情報】

第1【内国投資証券（新投資口予約権証券及び投資法人債券を除く。）】

(3)【発行数】

<訂正前>

(前略)

(注2) 割当予定先の概要及び本投資法人と割当予定先との関係等は、以下のとおりです。

| | | | |
|---------------|----------------------|---|-------------|
| 割当予定先の氏名又は名称 | | S M B C 日興証券株式会社 | |
| 割当口数 | | 1,100口 | |
| 払込金額 | | 481,000,000円(注) | |
| 割当予定先の内容 | 本店所在地 | 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 | |
| | 代表者の氏名 | 取締役社長 清水 喜彦 | |
| | 資本金の額 (2019年3月31日現在) | 10,000百万円 | |
| | 事業の内容 | 金融商品取引業 | |
| | 大株主 (2019年3月31日現在) | 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 100% | |
| 本投資法人との関係 | 出資関係 | 本投資法人が保有している割当予定先の株式の数 | 該当事項はありません。 |
| | | 割当予定先が保有している本投資法人の投資口の数 (2019年7月31日現在) | 1,116口 |
| | 取引関係 | 一般募集 (後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 オーバーアロットメントによる売出し等について」に定義されます。以下同じです。)の事務主幹会社です。 | |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 | |
| 本投資口の保有に関する事項 | | 該当事項はありません。 | |

(注) 払込金額は、2019年8月1日(木)現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

<訂正後>

(前略)

(注2) 割当予定先の概要及び本投資法人と割当予定先との関係等は、以下のとおりです。

| | | | |
|---------------|----------------------|---|-------------|
| 割当予定先の氏名又は名称 | | S M B C 日興証券株式会社 | |
| 割当口数 | | 1,100口 | |
| 払込金額 | | 471,971,500円 | |
| 割当予定先の内容 | 本店所在地 | 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 | |
| | 代表者の氏名 | 取締役社長 清水 喜彦 | |
| | 資本金の額 (2019年3月31日現在) | 10,000百万円 | |
| | 事業の内容 | 金融商品取引業 | |
| | 大株主 (2019年3月31日現在) | 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 100% | |
| 本投資法人との関係 | 出資関係 | 本投資法人が保有している割当予定先の株式の数 | 該当事項はありません。 |
| | | 割当予定先が保有している本投資法人の投資口の数 (2019年7月31日現在) | 1,116口 |
| | 取引関係 | 一般募集 (後記「第5 募集又は売出しに関する特別記載事項 オーバーアロットメントによる売出し等について」に定義されます。以下同じです。)の事務主幹会社です。 | |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 | |
| 本投資口の保有に関する事項 | | 該当事項はありません。 | |

(注)の全文削除

(4) 【発行価額の総額】

<訂正前>

481,000,000円

(注) 上記の発行価額の総額は、2019年8月1日(木)現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

<訂正後>

471,971,500円

(注)の全文削除

(5) 【発行価格】

<訂正前>

未定

(注) 発行価格は、2019年8月28日(水)から2019年9月2日(月)までのいずれかの日(以下「発行価格等決定日」といいます。)に一般募集において決定される発行価額と同一の価格とします。

<訂正後>

429,065円

(注)の全文削除

(15) 【手取金の使途】

<訂正前>

本第三者割当における手取金上限481,000,000円については、本第三者割当と同日付をもって決議された一般募集による新投資口発行の手取金9,582,000,000円と併せて、後記「第二部 参照情報 第2 参照書類の補完情報 2 投資対象 (1) 新規取得資産の概要」に記載の特定資産(投信法第2条第1項における意味を有します。以下同じです。)(以下「新規取得資産」といいます。)のうち「池袋グローブ」(共有持分50%)(追加取得)(以下「取得予定資産」といいます。))の取得資金の一部並びに「池袋グローブ」(共有持分50%)(第30期取得)、「栄グローブ」(準共有持分40%)及び「心齋橋MGビル」(共有持分60%)(以下、総称して「第30期取得済資産」といいます。))の取得に伴う借入金の返済資金の一部に充当します。

(注1) 調達する資金については、支出するまでの間、金融機関に預け入れる予定です。

(注2) 上記の各手取金は、2019年8月1日(木)現在の株式会社東京証券取引所における本投資口の普通取引の終値を基準として算出した見込額です。

<訂正後>

本第三者割当における手取金上限471,971,500円については、本第三者割当と同日付をもって決議された一般募集による新投資口発行の手取金9,396,523,500円と併せて、後記「第二部 参照情報 第2 参照書類の補完情報 2 投資対象 (1) 新規取得資産の概要」に記載の特定資産(投信法第2条第1項における意味を有します。以下同じです。)(以下「新規取得資産」といいます。)のうち「池袋グローブ」(共有持分50%)(追加取得)(以下「取得予定資産」といいます。))の取得資金の一部並びに「池袋グローブ」(共有持分50%)(第30期取得)、「栄グローブ」(準共有持分40%)及び「心齋橋MGビル」(共有持分60%)(以下、総称して「第30期取得済資産」といいます。))の取得に伴う借入金の返済資金の一部に充当します。

(注2)の全文削除及び(注1)の番号削除

第5 【募集又は売出しに関する特別記載事項】

オーバーアロットメントによる売出し等について

<訂正前>

- (1) 本投資法人は、2019年8月15日(木)開催の本投資法人の役員会において、本第三者割当とは別に、本投資口21,900口の一般募集(以下「一般募集」といいます。)を決議していますが、一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した上で、一般募集とは別に、一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、本投資法人の投資主である三井不動産株式会社(以下「三井不動産」といいます。))から1,100口を上限として借り入れる本投資口の売出し(オーバーアロットメントによる売出し)を行う場合があります。オーバーアロットメントによる売出しの売出数は1,100口を予定していますが、当該売出数は上限の売出数であり、一般募集の需要状況等により減少し、又はオーバーアロットメントによる売出しそのものが全く行われない場合があります。本第三者割当は、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社が三井不動産から借り入れた本投資口(以下「借入投資口」といいます。))の返還に必要な本投資口を取得させるために行われます。

また、SMB C日興証券株式会社は、一般募集及びオーバーアロットメントによる売出しの申込期間の終了する日の翌日から2019年9月19日(木)までの間(以下「シンジケートカバー取引期間」といいます。))、借入投資口の返還を目的として、株式会社東京証券取引所(以下「東京証券取引所」といいます。))においてオーバーアロットメントによる売出しに係る口数を上限とする本投資口の買付け(以下「シンジケートカバー取引」といいます。))を行う場合があります。SMB C日興証券株式会社がシンジケートカバー取引により買い付けたすべて

の本投資口は、借入投資口の返還に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、SMB C日興証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る口数に至らない口数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

(後略)

<訂正後>

(1) 本投資法人は、2019年8月15日（木）開催の本投資法人の役員会において、本第三者割当とは別に、本投資口21,900口の一般募集（以下「一般募集」といいます。）を決議していますが、一般募集にあたり、その需要状況等を勘案した結果、一般募集とは別に、一般募集の事務主幹事会社であるSMB C日興証券株式会社が、本投資法人の投資主である三井不動産株式会社（以下「三井不動産」といいます。）から借り入れる本投資口1,100口の売出し（オーバーアロットメントによる売出し）を行います。本第三者割当は、オーバーアロットメントによる売出しに関連して、SMB C日興証券株式会社が三井不動産から借り入れた本投資口（以下「借入投資口」といいます。）の返還に必要な本投資口を取得させるために行われます。

また、SMB C日興証券株式会社は、2019年8月31日（土）から2019年9月19日（木）までの間（以下「シンジケートカバー取引期間」といいます。）、借入投資口の返還を目的として、株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）においてオーバーアロットメントによる売出しに係る口数を上限とする本投資口の買付け（以下「シンジケートカバー取引」といいます。）を行う場合があります。SMB C日興証券株式会社がシンジケートカバー取引により買い付けたすべての本投資口は、借入投資口の返還に充当されます。なお、シンジケートカバー取引期間内において、SMB C日興証券株式会社の判断でシンジケートカバー取引を全く行わず、又はオーバーアロットメントによる売出しに係る口数に至らない口数でシンジケートカバー取引を終了させる場合があります。

(後略)